



くすりと健康

一般社団法人
神戸市薬剤師会

ニコチン依存症

たばこの煙にはさまざまな化学物質が含まれています。そのひとつのニコチンには依存性があり、たばこをやめたくてもやめられないのは、ニコチン依存症という病気のせいかもしれません。

ニコチンは、肺の毛細血管から吸収され、速やかに脳に入りニコチン受容体と結合して、ドーパミンを放出させます。ドーパミンは、「報酬系」と呼ばれる脳内伝達物質で、本来獲物を得るなどの幸せを感じた時に分泌され、快楽を感じる効果を持っています。ニコチンを摂取することで多幸感を得ることができます。しかし、ニコチンは比較的早く代謝されてしまいその効果を失うため、多幸感を得るためには繰り返し続けてニコチンを摂取する必要があります。そして、ニコチンを繰り返し摂取し続けていると、逆にニコチンがないと不安感やイライラなどの感情が生じてしまうため、またニ

コチンを摂取したいという衝動にかられます。これがニコチン依存症の原因です。

禁煙をおこなうためにはニコチン依存症を克服する必要がありますが、ニコチン依存症を克服するための補助的な薬があり、禁煙によりたばこから得られないニコチンを補充するニコチンガムとニコチンパッチ、ニコチンがニコチン受容体に結合するのを邪魔するバレニフリンがあります。

ニコチンガムは、薬局などで購入することができます。1日の喫煙本数によってはじめは1日4個から12個程度を使用し、1週間に1個から2個程度徐々に減らしていき、3カ月をめどに使用をやめます。使用方法は普通のガムと異なり、1個のガムを噛んだり、ほぼと歯ぐきの間に挟んだりを繰り返し使用します。

ニコチンパッチは、薬局などで購入することができる貼り薬ですが、医療機関で処方されることもあります。市販のニコチンパッチの使い方は、初

めは大きい用量のパッチを使用し、6週間程度で小さい用量のパッチに切り替えて、8週間をめどに使用をやめますが、さらに小さい用量のパッチに切り替えて10週間程度でやめる方法もあります。医療機関で処方されるニコチンパッチの場合は、医師の指示に従って使用してください。

バレニフリンは、医療機関を受診して処方してもらう飲み薬です。バレニフリンはニコチン受容体と結合して、ニコチンがニコチン受容体に結合するのを邪魔するため、喫煙による満足感が抑制されますが、バレニフリンとニコチン受容体が結合することで少量のドーパミンが放出されるため、イライラ感などの不快な症状は少し緩和されます。

禁煙外来をおこなっている医療機関では、一部条件はありますが、保険で治療をおこなうことができます。詳しくは医療機関にお尋ねください。

(北区 薬局エビノファーマシー

松本博志)